

誘導電源付 多チャンネル温度テレメータ

ATESTEO Multi channel Temperature Telemetry System

回転体の温度計測用の誘導電源付テレメータです。8ch(最大16ch)の熱電対による温度測定データは、デジタル伝送方式によりロータからステータへ送信されます。測定値はアナログ及びCANで出力されます。

高速回転対応(最高15000rpm)の测温フランジと、既設の回転軸上に取付けることができる测温リングの2種類があります。测温リングの内径はカスタマイズできます。

高速回転対応

测温フランジ TTF1



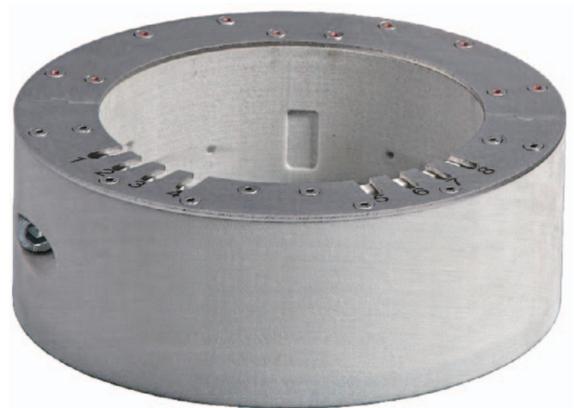
ロータ(回転部)

ステータ
(固定部)



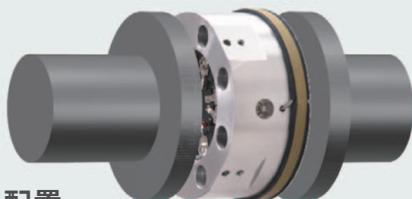
既設の回転軸に取付可能

测温リング TTR

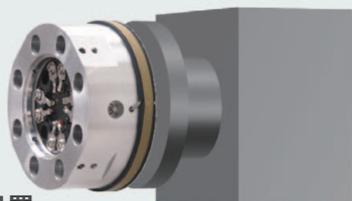


インタフェース
(アナログ・CAN出力)

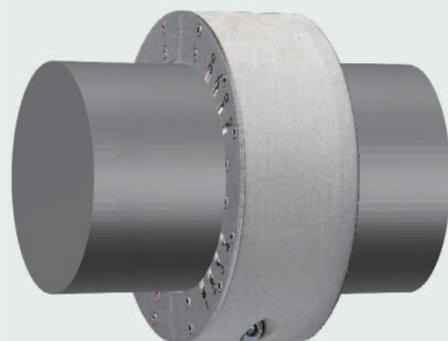
軸間配置



軸端配置



既設シャフトの軸上に配置



誘導電源付 多チャンネル温度テレメータ

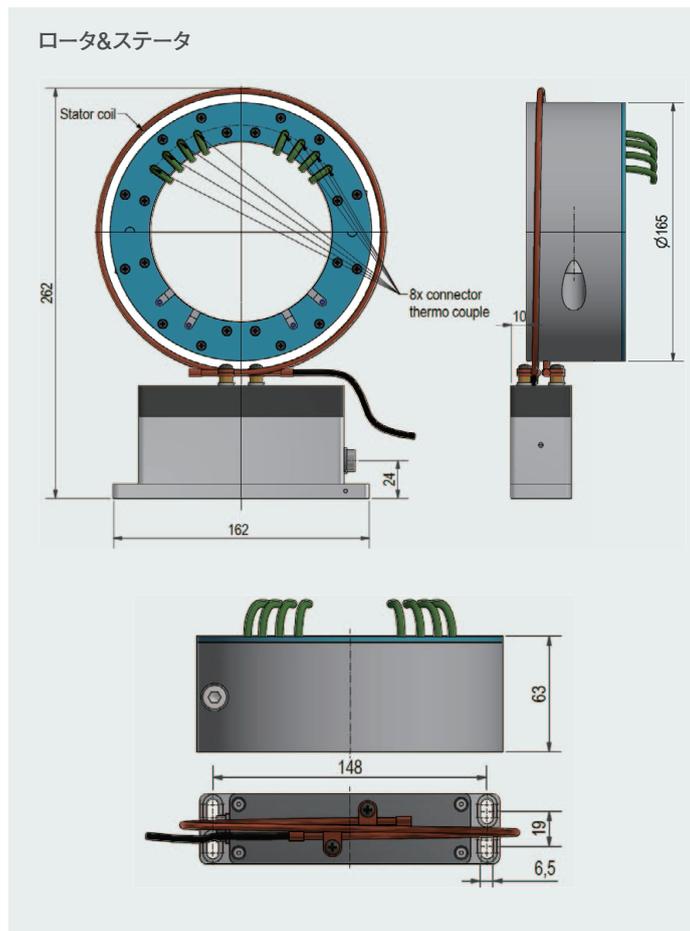
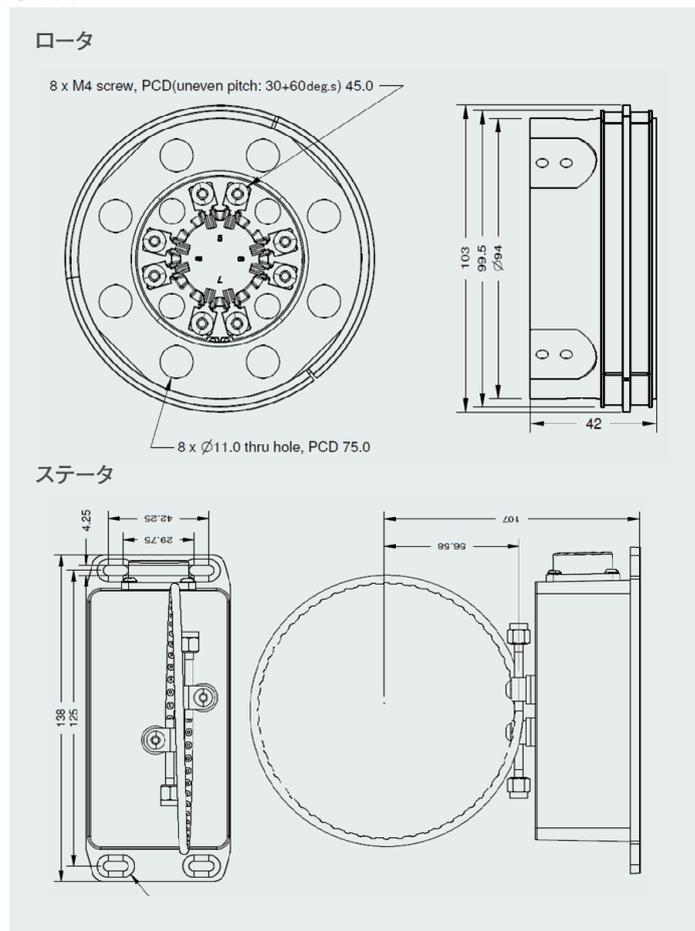
個別仕様

	測温フランジ			測温リング
入力CH	4	8	16	8
出力更新時間	5 - 500ms	10 - 1,000ms	20 - 2,000ms	10 - 1,000ms
最大回転数	10,000rpm(オプション15,000rpm)		6,000rpm	3,500rpm
レーザー電源電圧	VETAS-J2 : DC9V - 36V DC12V/1.5A			VETAS-J3 : DC24V DC24V/1A
重量	ロータ : 0.5Kg, ステータ : 0.3kg			ロータ : 0.9Kg, ステータ : 0.6kg

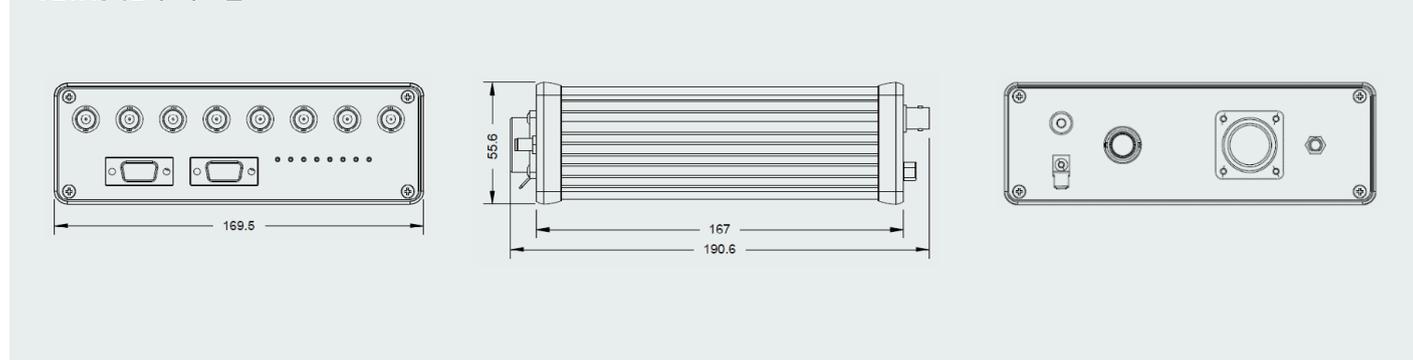
共通仕様 (抜粋)

熱電対タイプ	Kタイプ	アナログ出力電圧	0V - 10V ±10V
検出温度範囲	-200°C - 1,350°C	動作温度	ロータ, ステータ : 0 - 70°C, レシーバ : 0 - 50°C
精度	±2°C	付属品	電源コネクタ, 誘導電源ケーブル, RFケーブル, CD-ROM(設定プログラム)
出力I/F	アナログ, RS232C, CAN		

寸法図



VETAS-J2 インタフェース



仕様は本カタログ作成時のものです 今後変更することがあります